

研究課題名：	悪性腫瘍による十二指腸狭窄の実態調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器内科
研究責任者(職名)：	細川 貴範 (医長)
研究期間：	2019年1月21日～2019年6月2日
研究目的と意義：	悪性腫瘍による消化管狭窄は食事摂取不能となり QOL を著しく低下させることから、QOL 向上のため治療が必要になる。バイパス手術と消化管ステントがその治療として用いられるが、手術は耐術能の問題や入院期間の問題がある一方、消化管ステントは再狭窄や遅発穿孔といった問題があり、どちらを選択すべきかは明らかではないため、悪性腫瘍による十二指腸狭窄に対するバイパス手術と消化管ステントについて検討する。
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 当院で十二指腸狭窄に対し、バイパス手術または消化管ステント留置を行った患者を対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、身体所見、検査結果、診療についての記録等 ●研究方法 当院で十二指腸狭窄に対し、バイパス手術または消化管ステント留置を行った患者の治療時のデータおよびその後の経過について後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：細川 貴範 (消化器内科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>